

2016年2月号

国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所発行(No.104)



# Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～



## 水際で防ぐ！三河港テロ対策訓練

2月12日、蒲郡市の竹島ふ頭において「三河港テロ対策合同訓練」が実施されました。これは今年5月  
に開催される伊勢志摩サミットに向け、水際対策に関わる関係機関の連携を強化するため、愛知県警察・  
海上保安庁・税関・入国管理局・三河港務所と当事務所の6機関約50人が合同で実施したものです。

訓練内容は以下の通りです。

### ◎海上訓練：

「不審者が乗船する外国船舶が三河港へ入港している」との事前情報があったため各機関が警戒中、三  
河港湾事務所業務艇「しおさい」から「外国船舶に小型ボートが接近し、船員と接触している」と緊急  
連絡。その後、現場へ急行したパトカーを見て小型ボートが逃走したため、各機関の船舶は連携して小  
型ボートを挟撃し、最後は海上保安庁が乗り込んで取り押さえた。

### ◎陸上訓練：

岸壁に停泊中の外国船舶に対し、税関・海上保安庁・入国管理局による合同搜索を実施。船員全員に入  
国審査を実施中、船員の一人がいきなりナイフを振り回しながら逃走を図ろうとしたため、警戒中の警  
察官がこれを制圧し逮捕。この船員が所持していたバック内にあった不審物について、税関のX線検査  
車により検査すると、拳銃のような物や大量の粉末、液体が発見された。

今回は訓練のため、警察官の方などが悪役に扮したり、海上保安庁の職員が逃走する小型ボートを操船  
したりしていましたが、普段温厚に接してくださる方々が有事に非常に頼もしく感じられた訓練でもあり  
ました。今後も伊勢志摩サミットなど国際会議が開催されますが、各機関と連携して水際対策に取り組ん  
でまいります。



▲逃走する不審な小型ボートを挟撃



◀入国審査中に船員が逃走を図ろうとしたため、警戒中の警察官が制圧

三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>



みかわこうわん  
三河港湾

検索

# 巨大地震・津波に備えた伊勢湾BCPを策定

2月5日、「第4回伊勢湾港湾機能継続計画検討会議」が開催されました。中部地方整備局、中部運輸局、第4管区海上保安本部、愛知県、三重県、伊勢湾内各港港湾管理者で構成する伊勢湾港湾広域防災協議会は、南海トラフ地震等の大規模・広域災害に対して、伊勢湾内の広域連携により緊急物資輸送や港湾物流機能の早期回復を実現することを目的として「伊勢湾港湾機能継続計画（伊勢湾BCP）」と、大規模災害時の広域連携による航路啓開作業を具体的に定めた「緊急確保航路等航路啓開計画」を策定しました。

## 【伊勢湾BCPの概要】

### ① 港湾機能の回復目標

#### ■緊急物資輸送（燃料供給含む）

○国の南海トラフ地震対策、各自治体の地域防災計画、各港の港湾BCP、中部版くしの備作戦を踏まえ、回復目標を設定する。

#### ■通常貨物輸送

○一般貨物については、港湾BCPを踏まえ、緊急物資が落ち着いた段階からの再開を目安とし、コンテナ貨物については、発災後7日以内の再開を目安とする。

### 《機能回復目標》

| 目標時間    | 回復目標                                                      |
|---------|-----------------------------------------------------------|
| 発災後3日以内 | ○湾内各港への最小限の海上輸送ルートの確保                                     |
| 発災後7日以内 | ○緊急物資輸送ルートの拡充（製油所・油槽所、LNG基地（電気、ガス）が立地する港湾への海上輸送ルートの確保を含む） |

### ② 緊急輸送ルートの確保

○優先的に確保すべき海上輸送ルートについては、被災地の状況、国や自治体等の要請、道路の状況、緊急確保航路等・港湾施設の状況、作業船の確保状況、製油所・油槽所及び発電所・都市ガス製造工場等を総合的に勘案し、広域連携体制において協議・調整して決定。

### 広域連携体制

優先的に確保すべき海上輸送ルートの協議・調整



出典：「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」（H27.3中央防災会議幹事会）より作成

BCP（Business Continuity Plan）：

業務継続計画のこと。災害などの被害を受けても業務が中断せず、また、中断した場合も可能な限り短い期間で回復するために、前もって資源（人、モノ等）の準備を行ったり、災害発生時の対応方法や組織を定めたもの

## 港湾業務艇 しおさい



◆体験イベントでの乗船

本船は、三河港、衣浦港及び中山水道航路の監督、測量業務に用いる港湾業務艇として、平成元年3月に建造されました。港湾整備事業が広範囲に亘る事から、高速性と操縦性を考慮し、港湾空港部の港湾業務艇では初となるクルーザー型を採用しています。

監督・測量業務のほかにも、豊橋市主催の『みなとふれあい体験イベント』や蒲郡市主催の環境学習イベント『環境チャレンジ』などの地元のイベント、『三河港BCP訓練』などの防災訓練にも協力しています。

※潮騒（しおさい）：潮がさす時の波の音

### 三河港湾ぎゃらりー



作品No.42 三河港・蒲郡地区

### 海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと  
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00  
（土・日・祝祭日を除く）  
※一部の地域を除きます。

国土交通省  
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1  
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>